
緩和ケア A

Palliative Care Exercise A

山 田 忍 教授

栗 山 俊 之 講師

温 井 由 美 非常勤講師

吉 岡 さおり 非常勤講師

1 年次後期・がん看護専門看護師コース必修**2 単位・30 時間**

【概要・目標】

特論 I～III の学習内容を基盤に、がん治療をうける患者・家族の各種の身体症状や苦痛を理解し、専門的な知識と高度な技術を用いてキュアとケアを融合した緩和ケアにおける看護を実践するための能力を修得する。

【授業内容・スケジュール】

1- 6. 緩和ケアにおける看護の役割と機能

- 1) 疼痛のメカニズムとその緩和方法（講義：栗山）。
- 2) がん性疼痛における痛みのアセスメント、ケミカルコーピングについて症例を交え教授し患者の QOL を尊重したケアについてディスカッションする（講義・演習：山田）。
- 3) がん患者の苦痛を全人的苦痛として多面的に捉え難治抵抗性のある患者の苦痛に対して、包括的なアセスメントの必要性和方略について教授する（講義：山田）。
- 4) 学生が食欲不振、吐き気に関して文献を基に学び症例を交えプレゼンテーションしディスカッションする（演習・山田）。
- 5) 学生が呼吸困難感、全身倦怠感に関して事例を交えプレゼンテーションしディスカッションする（演習・山田）。
- 6) 学生が腹部膨満感・便秘に関して症例を交えプレゼンテーションしディスカッションする（演習・山田）。

7. 緩和ケアにおける患者・家族の心のゆらぎと希望を支えるケアについて症例を交え教授しディスカッションする（講義・演習：温井・山田）。

8. 死にゆく患者をケアする看護師に求められる視点：看取りケアの構成要素に沿ったケアのポイントに関して教授する（講義：吉岡）。

9. 死にゆく患者をケアする看護師に求められる視点：ACP のメリット、デメリットと課題、がんサバイバーに対する支援等を教授する（講義：吉岡）。

10. 死にゆく患者をケアする看護師に求められる家族ケアの課題と意義、ニードとアセスメントに関して教授する（講義：吉岡）。

11. 治療不能時における緩和ケアに関して症例を提示し教授しディスカッションする（講義・演習：栗山）

12. 患者・家族の利益を尊重し QOL を維持した緩和ケアに関して、倫理的視点を基盤に問題と課題について症例を交え、教授しディスカッションする（講義・演習：山田）。

13. 学生が緩和ケアにおいて倫理的な問題があった患者の症例について、プレゼンテーションしディスカッションを行う（演習：山田）

学生は緩和ケア教育について国の取り組みを視野に、義務教育の場での教育への取り組み、問題と課題を挙げ、がん看護専門看護師としての役割をプレゼンテーションしディスカッションする（演習・山田）。

14. 学生は所属施設での ACP の普及において問題と課題を挙げ、がん看護専門看護師としての役

割をプレゼンテーションしディスカッションする(演習・山田)。

15. 学生は緩和ケアにおける所属施設での多職種チーム連携について現状と問題・課題をプレゼンテーションし解決するためのがん看護専門看護師としての役割をディスカッションする(演習：山田)。

【評価】

下記の事項について、総合的に判断して評価する。

1. 指定文献の読み込みとその理解状況(プレゼンテーションおよび意見交換) 50%
2. 疼痛コントロール, 身体的苦痛を緩和する看護に関して, キュアとケアの融合と看護実践の発展において教育的な視点での課題レポート提出 50%。

【テキスト】

配布資料

がんプロ e-learning による自己学習

【推薦参考図書】

1. 長谷川美栄子:緩和ケアベストマネジメント～チーム内での役割を考える、がん看護 18(1)、2013.
2. 岡崎寿美子:小島恭子編、ケアの質を高める看護倫理、医歯薬出版、2010.
3. 垣添忠生:妻を看取る日、新潮社、2009.
4. 柳沢和子:がん患者学Ⅲ、中公文庫、2004
5. 樋野興夫:がん哲学, EDITEX、2011.
6. 柳田邦夫, 南裕子他:生と死の21世紀宣言、青雲社、2007.
7. 高垣忠一郎:生きることと自己肯定感、新日本出版社、2010.
8. 小笠原知枝 編:エンドオブライフケア看護学ー基礎と実践ー、ヌーヴェルヒロカワ、2018
9. 日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会編集:『がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2023年版』
10. 日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会『進行性疾患患者の呼吸困難の緩和に関する診療ガイドライン 2023年版』
11. 余宮きのみ:がん疼痛緩和の薬がわかる本、医学書院、2013.
12. 的場元弘, 加賀谷肇 監修 がんの疼痛緩和ケア, 2019 第2版改定, 2014.

【その他】

連絡先: yamada-s@wakayama-med. ac. jp (山田)

kuriyama@wakayama-med. ac. jp (栗山)